

変わる家族のカタチ

～これからの『育児』や『介護』を考える～

講師：渥美由喜さん

最近よく耳にする「ワーク・ライフ・バランス」。核家族、共働き世帯が多くなり、男性も女性も仕事と家庭の両立が不可欠となってきました。

少子高齢がすすむ中、働きながら子育てや介護をするにはどうすればよいか？

自ら「育児」や「介護」を実践中の男性講師の話から、「ワーク・ライフ・バランス」に取り組む効果をとともに考えてみませんか？

- 募集定員 150名（先着順）
- 参加料 無料
- 託児 無料（要予約・定員10名、先着順・1歳以上小学3年生まで）
- 締切日 6月15日（金）まで
- 申込方法 窓口・電話・ハガキ・FAX・メールで住所・氏名・年齢・電話番号・託児の有無をお知らせください。

※団体でお申込みの場合、団体名・代表者名・住所・電話番号・参加人数を係りまでご連絡ください。



主催：小野市・小野市男女共同参画センター・NPO 法人 北播磨市民活動支援センター

6月16日（日）

14時30分～16時30分

受付開始 14時00分～

会場 小野市うるおい交流館
エクラ 大会議室

講師プロフィール

渥美 由喜（あつみなおき）

【厚生労働省 政策評価に関する有識者会議委員・東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長】

専門領域は、社会保障、人口問題、家計消費、労働雇用。内閣府「少子化社会対策推進会議」「ワーク・ライフ・バランス官民連絡会議」、厚生労働省「イクメンプロジェクト」委員、政策評価委員等を歴任。

「ダイバーシティやワーク・ライフ・バランスは企業にとって単なるコストではない。むしろ中長期的に返ってくるハイリターン投資であり、経営戦略として取り組むか否かで大きく企業の明暗を分ける」と確信している。共働きの妻とともに5歳と1歳の育児に奮闘中（育児休業を2回取得）。

一昨年から実父（要介護1）の介護中。18年前より地元の公園で継続してきた子ども会のボランティア活動をライフワークにしている。

著書に『イクメンで行こう！』（日本経済新聞出版社、2010年）など。

座右の銘は、「市民の三面性＝家庭人、地域人、職業人」。



お問合せ先

〒675-1366

小野市中島町72番地

小野市うるおい交流館エクラ

小野市男女共同参画センター「講演会」係

TEL：0794-62-6765 FAX：0794-62-2400

Eメール：danjo@ksks-arche.jp

（FAXの場合は切り取らずに送信してください）

平成25年度 講演会申込書

氏名		年齢	TEL	
			FAX	
住所	〒		託児希望【有・無】	
			ふりがな	
			名前	
			年齢	歳 月

※いただいた個人情報は講座事務連絡以外では使用いたしません。